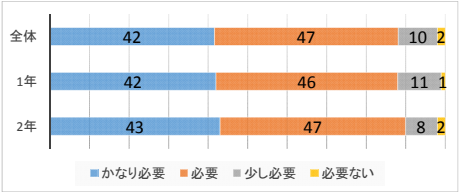


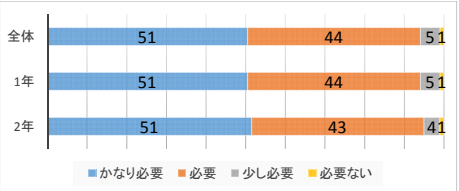
H30. 第1回 朝自学意識調査集計結果

【将来に対する意識調査】

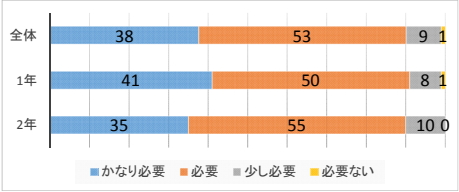
Q1: 将来、自ら学ぶ力が必要になると感じますか



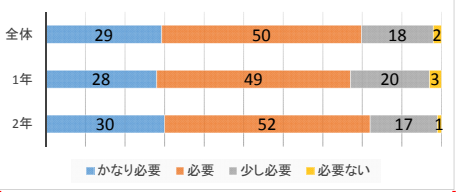
Q2: 将来、計画を立て実行する力が必要になると感じますか



Q3: 将来、自ら課題を見つける力が必要になると感じますか



Q4: 将来、解決不可能なものに粘り強く取り組む力が必要だと感じますか

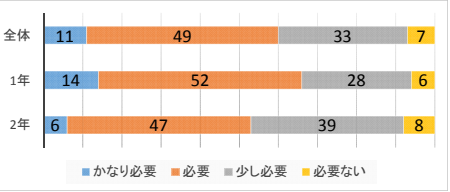


Q1～Q4の全ての項目に関して高い数値が示されています。特に、計画を立て実行する力の必要性を感じている生徒が多いことがわかりました。これは学習面だけではなく、学校行事や部活動など、様々な日常の場面で必要性を感じている天高生が多く、イメージしやすい項目であったためと分析しています。

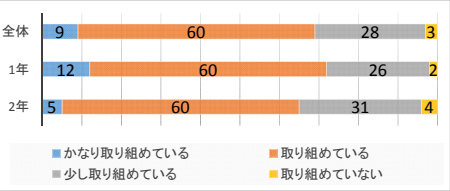
※数値は全て百分率で表しています。

【個人の意識調査】

Q5: 朝自学の時間はあなたにとって必要ですか

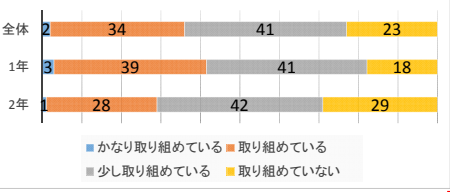


Q6: 朝自学には、積極的に取り組んでいますか



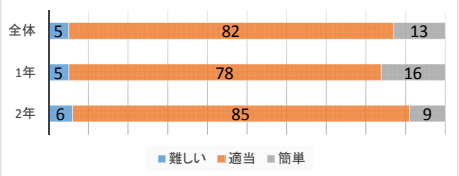
多くの生徒が前向きに取り組んでいる反面、朝自学が必要でないと回答する生徒が6～8%（約30名）いることがわかりました。記述文から「夜するほうが自分にとって効果的である」といったものがありました。また「朝は学習のゴールデンタイム」とも言われています。各HR等で様々な声掛けを行い、全ての生徒が有用性を感じられるように改善していきたいです。

Q7: 開始前にその日に取り組む内容を考えて取り組んでいますか

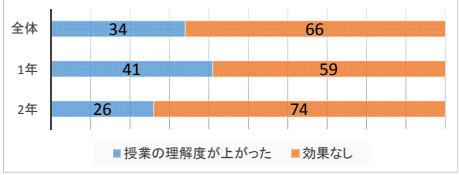


私たちも効果的な方法を模索しています。1回ごとに改善をしているため、内容の伝達が遅れていました。生徒が、朝の35分をデザインできるように早めの提示を行います。

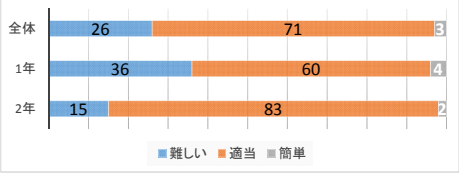
Q8: 国語の朝自学課題の難易度についてどう思いますか



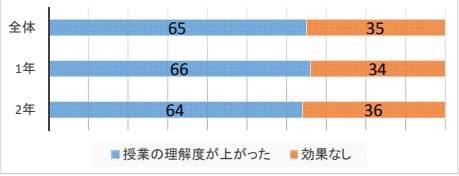
Q9: 朝自学の国語の授業に対する効果はありますか



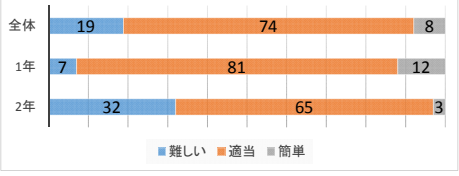
Q10: 数学の朝自学課題の難易度についてどう思いますか



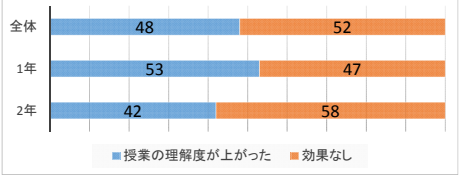
Q11: 朝自学の数学の授業に対する効果はありますか



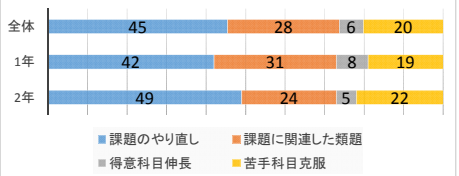
Q12: 英語の朝自学課題の難易度についてどう思いますか



Q13: 朝自学の英語の授業に対する効果はありますか

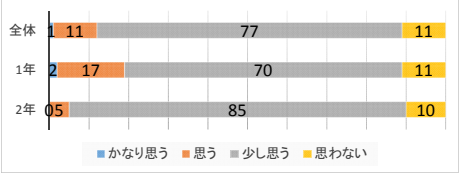


Q14: 課題終了後に行っていることはどれですか



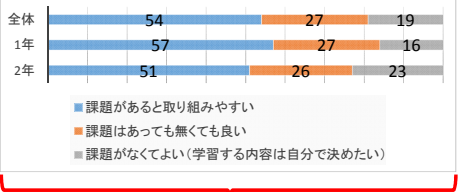
課題のやり直しや類題に挑戦する生徒が多いようです。5人に1人が「苦手克服」に取り組んでいることもわかりました。苦手なものは受験において失点を招きます。また、家庭学習では長続きしないことも多いはずです。とても良い視点を持ち学習しているようです。

Q15: 朝自学で自身の全体的な学力が伸びていると感じますか



今回のアンケートは、1年生が「国数英」の1ローテ、2年生が「国数英」の3ローテを体験したタイミングで実施しています。朝自学と自身の全体的な学力の伸びの相関を感じるまでには、まだ時間が必要です。

Q17: 朝自学の課題についてどう思いますか



今は課題で学習をリードしています。特に1年生は、テキストの使い方や参考書のどこを学習するのよいかを学んでいる最中です。徐々に、自分に合った自学の仕方がわかり、自ら考えて取り組む学習にシフトすることが理想と言えます。

Q8,10,12より、国語は幅広い学力にマッチした課題であるといえます。1年数学と2年英語が難しいようです。Q9,11,13に関しては、課題が必ずしも授業内容とリンクしているわけではなく、評価が分かれると思います。各教科の総合力が上がれば必然的に上がると考えています。

今回のアンケートで、生徒の朝自学に対する意識を把握できました。1学期末に第2回を実施するため、そこまでに改善できることを改善し、全生徒にとって効果的となる取組に上げたいと思います。